

秋の叙勲

旭日中綴章

岩田一郎氏



地方自治功労

岩田前町長は、旧仁多町議
四期を経て、旧仁多町と奥出
雲町の町長を七期、通算二十
六年一ヶ月の永きにわたり、
企業経営感覚を導入した、自
治体運営と地域の活性化に尽
力され、今日の奥出雲町発展
の礎を築かれました。

就任当時、借入金返済公
債費が二十割の起債制限比率
を超え、起債が許可されない
厳しい財政状況の中、これま
での会社経営の経験を生かし、
町政の合理化と過疎債など有
利な地方債を活用され、町や
仁多病院(当時)の財政健全
化に努められました。

特に、町内の道路網の整備
を最優先に、国道三一四号三
井野原おろちループ橋の建設
や木次間の改良、国道四三二
号線や懸案であった県道樋の
谷から旧大東町までの改良な
どに尽力されました。

一方、「県政百年の大計」と
される尾原ダム建設事業も、
就任当初、関係者、町議会に
よる反対同盟が結成される中
建設同意に導き、移転三団地
の造成、移住者の生活再建を
押し進められました。

さらに、「所得のないこと
ろに定住なし」の持論から、
企業誘致に力を注ぎ、平成四
年に「奥出雲椎茸」、平成十
年に「奥出雲仁多米」を設立
し、特産品のブランド化に指
導力を発揮するとともに、地
元の雇用創出に貢献されまし
た。

また仁多郡二町の合併では、
近隣十力町が一市への趨勢
の中、「あまりにも広い面積と
なり、行政サービスの下と
衰退は避けられない」との先
見から、二町合併を推進し、
全国でも例を見ない、短期間
での合併を成就されました。
合併後は、旧両町間におけ
る生活基盤の格差是正を最優

先に、第三セクターの赤字解
消など様々な行政課題に対応
され、これらの取り組みは、
県内外から注目を集め、昨年
十一月の総務大臣表彰につな
がりました。

また、ホッケー競技では、
昨年北京オリンピックに本町
から二名の選手が出演し、全
国大会で横田高校男子が十四
年ぶり三校目となる三冠を達
成、さらに今年の国体では、
男女がアベック優勝に輝くな
ど、氏の二十六年間のホッケー
競技振興の尽力に込めまし
た。

退任前には、奥出雲町唯一
の観光名所「鬼の舌震」周辺
の山林を町で取得、国で「保
存管理計画」が承認され、つ
り橋やバリアフリーの遊歩道
などの整備が行えることとな
りました。

今回の受章について、岩田
氏は「身に余る光栄。支えて
いただいた町民の皆様、また
国や県、議員、職員の方々に
感謝したい」と話されました。
現在岩田氏は、総務省から
「地域経営の達人」の登録依
頼を受け、全国で講演活動
を行っています。

功績を讃える

久司偕子アヴェリーヌ顕彰碑完成

奥出雲町横田出身で、マク
ロビオティック(玄米菜食を
中心とした「自然体」で生き
る力を取り戻す食事法)を世
界各地に広め、その活動に生
涯を捧げた、故・久司偕子ア
ヴェリーヌさんの功績を讃え
る顕彰碑が完成し、十月十日
船通山を望む「むらくもの丘」
で除幕式が行われました。

し、生活習慣病が全世界
的な広がりを見せる中で
「食育」に対する関心が
高まっています。

参加者は、世界的に尊
敬される同氏の顕彰碑建
立により、日本の伝統食
にもとづく、理想的な食
事法・マクロビオティックが
広く理解され、奥出雲町が食
と健康の聖地、信頼される「食
の拠点」として発展すること
を祈りました。

また、横田コミュニティセ



ンターでは、久司道夫さんの
記念講演があり、出席者は、
偕子さんが唱えた自然食材を
生かす食事法の大切さを再認
識していました。

『故・久司偕子アヴェリーヌ』

奥出雲町横田で生を受け、自然食・マクロビオティック
の普及運動に生涯を捧げる。

戦中戦後の四年間は、馬木小学校で教職に就き、その後
昭和二十六年に渡米。
奥出雲の伝統食を基本とした食養活動、平和活動を、夫・
久司道夫氏とともに世界各地で実践し、「マクロビオティ
ックの母」と呼ばれる。

その業績は、平成十三年に米国議会において、功績をた
たえる顕彰決議が行われたほか、研究資料は、米国立歴
史博物館「スミソニアン」に永久保存・展示されています。
平成十三年に、世界の人々に惜しまれ永眠されました。

偕子さんが愛した船通山を
望む「むらくもの丘」で除幕

おめでとうございませう

厚生労働大臣表彰

加藤 進さん(三成)



業界の発展に貢献されていま
す。

全国土地改良事業功績者表彰

奥出雲町土地改良区 理事長
安部 文夫さん(大呂)



良区の運営に寄与されていま
す。

安部さんは、十月二十七日、
松江市で開催された、全国土
地改良大会の席上で、多年に
わたり土地改良区の役員とし
て土地改良事業の推進と地域
農業の発展に寄与された功績
に対し表彰されました。
現在、経験豊富な知識と指
導力で農村の活性化、土地改

山陰中央新報社 地域開発賞

長谷川 博己さん(三成)



に出掛け、山間部への鮮魚の
安定供給に尽力されました。

県内の各分野で長年にわた
り地域社会のために貢献され
た方々を表彰する、山陰中央
新報社「地域開発賞」に、長
谷川博己さんが選ばれました。
長谷川さんは、戦後まもなく、
当時では珍しい自動車免
許を取得し、オート三輪で松
江や境港などに魚の買い付け

小中学生 租税作品で県知事表彰



溝口知事から表彰を受ける
安部さん

私たちの暮らしに欠かせない税金
の意義と役割を理解してもらおうと、
県が募集した「税に関する作品」で
横田中学校の安部知世さん(三年)
の作文が、県知事賞を受賞し、十
一月十一日、県庁で授与式が行わ
れました。
「作文の部」では、参加三十五校
九百四十編の中からの受賞となり
ました。

交通安全功労知事感謝状



若月茂次さん



「交通安全母の会」
吉川正子馬木支部長

十一月六日、第四十五回島
根県交通安全県民大会が雲南
市で開催され、若月茂次さん
(下阿井)と交通安全母の会
馬木支部に、長年の交通安全
活動に対して、溝口知事から
感謝状が贈呈されました。